

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に係る県民意見と対応について

（令和2年9月30日
経営企画チーム）

1 要 旨

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の策定に当たり実施した、県民意見募集（パブリックコメント）の結果を公表する。

2 意見の募集期間及び結果

- (1) 募集期間：令和2年8月19日（水）から8月31日（月）
(2) 意見の件数：25名 49件

3 募集した意見

- (1) 県が掲げる目指す姿について、あなたのお考えをお聞かせください。
ア あなたが「安心」を得る、あなたの「誇り」が高まる、あなたが夢や希望に「挑戦」していくために、県に期待する取組
イ 特性を生かした適散・適集な地域づくりに向けて、県に期待する取組
(2) その他、ビジョン全般について、御意見があればお聞かせください。

4 意見と対応

意見の内容	対 応
1 災害が頻発化し、新型コロナも発生する中、「安心」を最初に位置付けたことは時宜にかなっている。ピンチをチャンスに生かす視点を持って、県民一人一人の安心を確保し、挑戦につなげてほしい。	先行き不透明で変化が激しい時代の中、県民の皆様は、将来に対する様々な不安を抱きながら生活していることから、まずは県民が抱く不安を軽減し、安心につなげ、その安心を土台として、誇りにつながる本県独自の強みを伸ばし、県内のどこに住んでいても、夢や希望に挑戦できる社会を目指してまいります。 こうしたことから、ビジョン自体の名称も「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」としたところ です。
2 将来に対する希望よりも、不安ばかりに目がいく世の中を少しでも変えてもらいたい。	
3 安心を土台とすることには賛成する。一人一人に着目しながら色々な不安を取り除いてくれる行政であってほしい。	
4 新型コロナの影響で、社会は大きく変わったため、今までの固定概念を捨て、新たな30年に向けてもう一度考え直す良い機会だと思ふ。新型コロナを受けて、検討見直しは行ったのか。	ビジョンの策定に当たっては、新型コロナ危機を契機とした様々な社会経済環境の変化を踏まえ、広島県総合計画審議会、広島県議会地方創生・行財政対策特別委員会等で審議を重ねてきたところです（審議状況は県HPで公開）。 新型コロナ危機は、人と人との距離を保つ分散の大切さへの気付きをもたらし、今後は、時間や場所にとらわれない暮らし方や働き方などが求められるため、本県の特徴である都市と自然の近接性を最大限生かした適切な分散と適切な集中を創造する適散・適集な地域づくりを進めてまいります。

意見の内容	対応
5 適散・適集な地域とあるが、中山間地域に集中な地域を作ることができるのか。人はどんどん減っていき、若い人達も街に出て行く中、具体的にどういった地域を作っていこうとしているのかを示してほしい。	新型コロナ危機後の社会において、中山間地域が持つ魅力ある自然と都市との近接性は、仕事と暮らしをより充実させたいと考える県内外の多様な人々から選択されるチャンスであり、空間的な制約を大幅に緩和するデジタル技術を積極的に活用しながら、自然豊かで心身が癒される適切な分散と、イノベーションを創出する適切な集中をうまく組み合わせ、それらを思いのままに行き来できる地域づくりを進めてまいります。
6 他県から移住した人も「誇り」を感じられるよう、ひろしまブランドを一層強化する取組に期待する。	本県の魅力的な観光地や、歴史・文化、自然、産業など、すべての分野において、ひろしまブランドを意識した取組を進め、県民の皆様に広島県の強みを再認識していただき、県民の誇りにつなげてまいります。こうした本県独自の資産を磨き上げ、その価値を発信することで、更に評価され、ブランド価値が高まる好循環を創出してまいります。
7 他県ではなく広島が良いと思うためには、ひろしまブランドのより一層の強化が必要ではないか。	
8 県は、県民の困り事や複雑な問題にもっと耳を傾け、県民に寄り添う県、すぐやる県であってほしい。	県職員一人一人が「県の仕事は全て県民のためにある」という原点に立ち返って判断する姿勢を持つことが大切であり、全ての職員が日々の業務遂行に当たり守るべき価値観や行動指針の徹底を図ってまいります。
9 県民感覚、経営感覚のある県職員を育成するため、副業を解禁するなど、県職員が主体的にスキル獲得やキャリア形成に取り組めるような人事制度の構築に期待する。	県職員一人一人が自身の将来像について考え、その実現に向けて前向きに取り組めるよう、多様な選択肢を知り、考える機会の充実や、職員同士が育成し合える仕組みの整備など、職員の状況や希望に応じた能力開発・成長支援に取り組んでまいります。
10 県の財政面においても「安心」できる県であってほしい。	社会経済情勢など様々な情勢が不透明な中においても、施策の推進と財政面への影響とのバランスを取りながら、県勢発展に必要な施策を安定して推進するため、現在、次期財政運営方針の策定に向けた検討を行っているところです。次期方針におきましても、今後の新たな広島県づくりを進めていく上で必要となる財政運営の基盤づくりを進めてまいります。
11 箱物に経費をかけず、出来るだけシンプルで健全な財政運営を行ってほしい。	
12 全般的に良いビジョンだと思うので、県民にしっかり浸透するよう分かりやすい広報に期待する。	県民の皆様の共感を得て、一緒に新たな広島県づくりを推進するため、親しみやすさを感じるリーフレットの作成やSNSなどを活用したPR、外国人にも分かりやすい多言語対応など、分かりやすい広報に努めてまいります。
13 若者の県外流出を抑制するため、本県独自の子育て支援の取組に期待する。	子供を持ちたいと思う人が安心して子供をもつことができ、全ての子供と子育て家庭が、安心して暮らし、子育てできるよう、全ての家庭を妊娠期から子育て期まで切れ目なく見守り、支援する「ひろしま版ネウボラ」の構築に取り組んでまいります。

意見の内容	対 応
14 進展するグローバル社会において、日本の競争力を維持するためには、多国語を話せるようになるための教育が重要であり、グローバルに活躍できる若者を輩出する教育に期待する。	短期留学プログラムや留学支援制度に加え、オンラインでの交流により、海外の生徒等との双方向コミュニケーションを行うことで、子供たちのグローバルマインドを涵養してまいります。
15 学校給食について、無添加・無農薬の食材や、子供達が自ら育てた食材を使った取組に期待する。	児童生徒に、食に関する正しい知識や、望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、食に関しての感謝の気持ちや食べ物を大事にする心を育むよう、食育の推進に取り組んでまいります。
16 早寝早起きといった生活習慣の改善を推進し、生涯にわたって心身ともに健康で活躍できる取組に期待する。	健康増進計画「健康ひろしま 21」において、「睡眠による休養が十分にとれていない人の減少」を目標に定め、休養の促進や長時間労働の解消ができるよう、関係機関・団体等と連携して取り組んでまいります。
17 老後に安心して暮らせるような制度づくりに期待する。	高齢期になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市町や関係機関と連携して、地域包括ケアシステムの質の向上に取り組んでまいります。
18 新型コロナの感染拡大を防止するため、検査体制の拡充と検査対象の拡大に期待する。特に医療、介護、学校関係の方が検査を受ける場合には、必要となる予算を国に請求すべきである。	<p>新型コロナの感染拡大を最小限に抑えるためには、感染者を早期に発見し、治療につなげることで、感染の連鎖を遮断していくことが重要であり、引き続き、検査体制の拡充に取り組み、有症状者や感染リスクの高い無症状者に対して積極的に検査を行ってまいります。</p> <p>また、これらの取組に係る財政支援については、様々な機会を通じて国に要望しているところです。</p>
19 将来にわたって、夢や希望に挑戦していける広島県に必要な施策は、まずは医療である。県のどこに住んでいても同じように医療を受けられるよう、医師の確保をはじめ医療体制の整備に期待する。	<p>医師確保に向けて、医学部地域枠や自治医科大学などの卒業医師を中山間地域等に計画的に配置するとともに、広島県地域医療支援センターを中心に、大学・医師会・県・市町・医療機関等が緊密に連携し、医師確保、定着促進、人材育成等に取り組めます。</p> <p>また、これに加え、多様な症例の集積や高度医療機能の整備等、全国トップレベルの医療を提供することで、意欲ある若手医師を全国から集めてまいります。</p>
20 介護など人手不足の分野において、県民の挑戦を後押しするため、キャリアアップのための費用を全額補助する取組に期待する。	キャリアアップを図るための資格取得については、従事者の資質向上及びモチベーションアップなどが必要であるため、人材確保・育成・定着に向けた効果的な支援策などを検討してまいります。
21 災害や感染症などの非常事態が増加する中、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」の実現に向けた取組に期待する。	「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現は、本県の行政運営における基本的な考え方と同一であり、今後ともそうした視点をもって新たな広島県づくりを進めてまいります。
22 災害からの早期復旧に関する取組(防災含む)に期待する。	平成30年7月豪雨による公共土木施設の災害復旧事業(県実施分)については、人家に近接した箇所など県民生活に影響の大きい箇所は令和3年の出水期までに完成させ、残る箇所は令和3年度中の完成を目指して計画的に取り組んでまいります。

意見の内容	対 応
23 災害時の安心につながる避難場所の整備や適切な避難を実現する取組に期待する。	「マイ・タイムライン」など、早めの避難行動につながる取組を進めるとともに、災害時の避難場所が安心できるものとなるように、個別避難所における運営マニュアルの策定を促進するなど、避難所の環境整備を進めてまいります。
24 防災・減災対策を進めても、土砂災害・洪水等による物理的被害は発生する。行政としての直接の対応は困難で、コロナ禍によりボランティアによる復旧作業には限界があることから、プロボノ（地元のプロ集団）による支援の仕組みを検討してはどうか。	コロナ禍における災害ボランティアの活動については、内閣府のガイドライン等に基づき、社会福祉協議会等の関係機関と連携強化に取り組んでいるところでございます。 また、定期的にプロボノ（地元のプロ集団）を含めた災害ボランティア関係団体と課題や情報の共有を図っており、今後も更なる連携の強化を図ってまいります。
25 子供たちが夢を持った大人になるためには、今の大人達が安心して働き、幸せな生活を送る姿を見せることが重要であり、雇用と賃金が守られることに期待する。	基幹産業の進化や、今後成長が見込まれる健康・医療関連、環境・エネルギー、IT分野などの成長分野の企業誘致や県内投資の促進を図り、魅力的な仕事や雇用の創出などにより、県経済の発展に向け、積極的に取り組んでまいります。
26 若者の県外流出を抑制するため、幅広い分野における企業誘致の取組に期待する。	
27 食料・農業・農村基本計画に新たに位置付けられた「中小・家族経営体への施策の展開」を踏まえた農業施策を盛り込んでほしい。 特に、企業的農業法人に加えて、中小・家族経営体を基礎とする生産者部会等を育成・高度化する施策の展開を盛り込んでほしい。	「中山間地域農業の活性化」という取組の方向性を新たに打ち出し、その中で企業経営体等の担い手と小規模経営体等多様な主体とが連携した持続的な地域農業を支える仕組みづくりを推進してまいります。 また、産地の強化・拡大に向けては、面積の拡大や生産技術の向上、販売力の強化など、総合的な支援を行うこととしております。
28 畑地化に向けた取り組みを進めつつ、本県農業の特徴である水田地質を活かした施策の展開を盛り込んでほしい。	低コスト化、大規模化及びスマート農業の導入等を推進することにより、需要に応じた米の生産に取り組んでまいります。
29 農林水産業は、最先端分野を伸ばす取組とともに、弱い部分を底上げするような取組も必要と考える。 特に農業分野は、近県に比べて農産物の質が低く、価格が高いと感じることが多いので、質の高い農産物を提供する取組に力を入れてほしい。	生産力を高めるため、新規就業者や規模拡大に取り組む生産者等に対する栽培技術支援や経営力向上支援等に取り組んでまいります。 また、経営体の栽培技術の向上に加え、スマート農業等の先進技術やGAPなどの生産工程管理を取り入れ、高品質の農産物が提供できるよう取り組んでまいります。
30 「新たな担い手の確保・育成」のための生活インフラの充実や情報提供について、関係事業（部局）横断的かつ効率的な取組の展開を盛り込んでほしい。	生活インフラの充実や情報提供については、県関係部局や市町と連携し、生活関連施策等の情報収集を行うとともに、県のHPや、JAグループと連携して運営しているHP「ひろしま農業応援ガイド」などで提供しているところであり、引き続き、就農相談から定着まで一体的に支援してまいります。
31 「中山間地域農業の活性化（特に鳥獣被害防止対策）」のくらしの安全対策や捕獲・駆除等の充実に向け、関係事業（部局）横断的かつ効率的な取組の展開を盛り込んでほしい。	鳥獣被害対策防止や捕獲・駆除等の関係事業における横断的・効率的な対策の推進については、引き続き、関係部局等により構成する「広島県野生鳥獣被害対策会議」を通じて、総合的で効果的な野生鳥獣被害対策を推進してまいります。

意見の内容	対応
<p>32 高齢化が一段と進む中、地域の担い手不足などの社会的課題に総合的に取り組む機関があっても良い。例えば、イノシシ・シカの出没対策や有害鳥獣対策従事者（猟友会員）の確保支援のための地域課題対応センターの設立を期待する。</p>	<p>鳥獣被害防止の成功事例を波及させるため、研修会等の実施や専門家の派遣、IoTを活用した新技術の導入実証などに対して支援を行う「市町鳥獣被害対策プログラム」を進めるとともに、イノシシやシカなどの捕獲の担い手となる狩猟者を確保・育成するため、猟友会と連携を図りながら、狩猟免許試験講習会への助成や、捕獲技術の向上を目的としたフィールド実習等に取り組んでまいります。</p>
<p>33 県外に出なくても、本県の豊かな自然を生かして、日々の生活では味わえないような体験型観光資源の整備が必要と考える。</p>	<p>県民の皆様楽しんでいただけるとともに、国内外の多くの人々が本県を何度となく訪れていただけるよう、瀬戸内や里山といった本県の特色ある自然を生かした体験型の観光プロダクトをはじめ、多彩で魅力的な観光プロダクトの開発に、市町やDMO等と連携し、取り組んでまいります。</p>
<p>34 本県は、南部は海、北部は山といった自然豊かな県であり、恵まれた自然を生かすことで、地方の活性化につなげてほしい。</p>	
<p>35 県内外及び国外の人々から何度も訪れたいと思ってもらえるよう、体験型の観光施設の強化や、マルシェ、若者に訴求する賑わいのある場所などの創出に期待する。</p>	
<p>36 観光振興に関する取組に期待する。</p>	
<p>37 文化芸術はあらゆる分野の基底であり、施策を打つ時、根幹として考えるべきものである。このため、文化芸術基本法の理念を「ひろしまビジョン」に明確、かつ具体的に反映させてほしい。</p>	<p>文化芸術は、人々の心を豊かにするとともに、多様な価値観が進む中において共感する心や他者への寛容さを育むなど、重要な価値を有しており、文化芸術基本法の理念を踏まえながら施策を推進してまいります。</p> <p>また、文化芸術は人づくりや教育など多岐にわたる分野と関連するため、関係部局と連携して、県民それぞれの価値観にあった文化芸術に親しめる機会の拡充や地域の歴史文化を伝承する環境整備などに取り組んでまいります。</p>
<p>38 様々な価値観を認め合い、共生できる地域づくり・一人一人の表現や生活を大切に社会づくりが必要であり、文化芸術には、違いを認める視点を育む力や、地域の活力を創出し、自治の基盤をつくっていく力があることから、文化芸術の視点から地域を考える取組に期待する。</p>	
<p>39 世界恒久平和の実現と環境改善の飛躍的な促進による人類生存可能な未来を期待する。</p>	<p>平成23年に国際平和拠点ひろしま構想を策定し、核兵器廃絶と復興・平和構築に向けた取組を包括的に進めているところです。</p> <p>今後とも、平和に関する様々な取組を着実に進め、核兵器のない平和な国際社会の実現に貢献できるよう、全力で取り組んでまいります。</p>
<p>40 高齢者や障害者が今の生活を「しあわせ」と感じる必要があると思う。公共交通機関は、乗り合いのような小回りがきくものが山間地には最も適している。他地域の成功例を取り入れてほしい。</p> <p>また、離合の難しい道を通らなければ通えないような場所には住みたくないため、若い人に向けて道路の整備を進めてほしい。</p>	<p>利用者の利便性向上を図るため、デマンド交通の導入やデジタル技術を活用した新たな交通サービスの導入など地域の実情に応じた効率的で利便性の高い持続可能な交通体系の再編に取り組む市町を支援してまいります。</p> <p>また、地域の拠点と集落等を結ぶ道路の整備や、バス路線の1車線区間の解消に向けた取組などを進めているところであり、地域の実情に応じた効率的な道路整備を推進してまいります。</p>

意見の内容	対 応
41 災害頻発や格差拡大の影響で空き家が増加する中、お年寄りから若者にいたるまで、住まいの安心を確保するため、空き家を利用した借り上げ式公営住宅を期待する。	<p>借り上げ公営住宅は、地方公共団体の財政負担や管理に係る負担の面で課題があり、現状は主として直接供給方式により公営住宅の供給を行っています。</p> <p>また、需要の地域偏在により、県営住宅団地にも一定数の空き家が存在している現状もあることから、まずは県営住宅の統廃合等により、需要のミスマッチを解消し、将来に渡って安定的に公営住宅の供給ができるよう、取り組んでまいります。</p>
42 日常生活でクルマに過剰に頼らないで済む、環境に優しい交通システムを期待する。	<p>鉄道・バス等の公共交通機関の利便性向上と利用促進を図り、環境にやさしい交通体系の整備を進めてまいります。</p> <p>また、地域の実情に応じた生活交通の再編を促すことで、日常生活の移動手段の確保に取り組んでまいります。</p>
43 中山間地の10年後の交通と医療について不安があるため、住みやすい地域にしてほしい。	<p>デジタル技術を活用し、中山間地域が抱える様々な課題の解決や地域サービスの高度化を進めることにより、時間や場所に捉われない多様な暮らし方の実現に取り組んでまいります。</p>
44 公共交通機関の最低維持、医療機関の維持、買い物難民にならないため、どこに住んでも同じサービスが受けられる仕組みづくりを期待する。	
45 ヒートアイランド現象の減少を促進する取組や、漂着・漂流ゴミに関する取組、環境に配慮した生活スタイルへの見直しなどの取組に期待する。	<p>省エネルギー対策などによる地球温暖化対策やプラスチックごみの海域への流出防止など持続可能な社会の構築に向けた取組を進め、県民や事業者が地球温暖化をはじめとする環境問題の重要性を共有し、環境と共生した生活スタイルや事業活動の定着につながるよう、取り組んでまいります。</p>

※ 御意見のうち、内容について原文を一部要約又は分割して掲載しています。

なお、具体的に内容を判断できなかったもの、県の業務対象外、パブリックコメント制度そのものに対する意見については、掲載していません。